

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 3 - 4

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		ホテル日の出岬施設整備事業				
評価者	担当課名	税財管理課		担当係名	管財係	
	管理職	職名	課長	作成者	主査	
		氏名	久保田和孝		氏名	澤田玲奈
事業の概要	運営・サービスの低下を招かないよう施設の現状維持を図り、塩害等により腐食が進み故障する恐れのある施設設備や送迎用バスの入替を実施。 また、落雷により破損した温泉湯揚設備等の復旧工事や地上デジタル放送に対応する為、客室等テレビ更新事業を実施。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 23 年度) 国・道支出金 4,800 千円 地方債 千円 その他 14,598 千円 一般財源 61,642 千円 事業費計 81,040 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 (指定管理者)		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武 ~ 地域産業の振興 ~				
	基本施策	5 観光の振興				
	単位施策	1 雄武観光の売り込み				
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	5,321 千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	14,599 千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	11,550 千円	22,529 千円	17,300 千円	4,830 千円	千円
	合計	11,550 千円	42,449 千円	17,300 千円	4,830 千円	千円

151

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	ホテル日の出岬利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	塩害等により施設設備の腐食や老朽が進み取替が必要である	温泉設備の現状維持			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	適切な温泉施設の維持管理	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
		設備改修等箇所件数	目標年度	平成21年度	
			目標値	8 件	
			実績値	8 件	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	充実した施設整備を図る		達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
特殊浴場ライナーリフト取替工事	塩害により腐食が激しく溶接等の補修を行ってきたが、利用者の安全性等を考慮し入替工事を実施した。				
温泉湯揚設備等落雷復旧工事	落雷により破損した温泉湯揚設備等を復旧する為の工事を実施した。				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	施設維持の為に腐食した設備の改修工事や入替工事を計画的に行い、営業業務に支障をきたさぬよう整備し、維持管理が必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	既存の温泉施設設備等を取替工事等することにより、施設の維持管理ができ有効である。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	温泉施設維持の為に、計画的に改修や取替工事を行うものであり、コスト削減は難しい。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

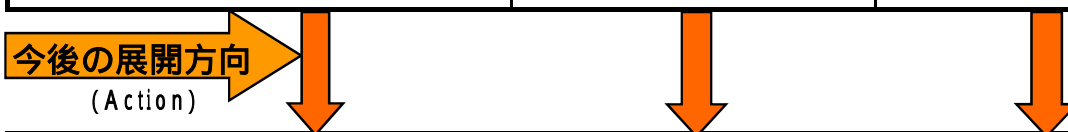
(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	ホテル日の出岬を利用する方すべてが対象であり公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
滞在型観光開発施設の運営・サービスの現状維持を保つためには、今後も計画通り事業を進めることが適当である。		



継続 / 現状維持		
温泉施設を運営する為には、設備の現状維持を保ち、計画通り事業を行う必要がある。		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--